



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
           益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
           (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
                   Cypress, CA 90630

石 叫 石

◎石叫 ■ 「過ぎ越しと聖餐式」  
 過ぎ越しの祭りはイスラエルにとって三大祭の一つである。紀元前一四〇〇年頃、数百万のイスラエル人がエジプトで奴隷だった時、神は彼らを「出エジプト」させるためエジプト王、パロを裁く手段に出た。それは裁きの天使を遣わして各家の長男を殺すことだった。そこまですなければならぬほどパロの心は頑なであった。モーセはその時にイスラエルの各家の鴨居と柱に子羊の血を塗る。それによって裁きは過ぎ越したが、そうでないエジプトの家々はパロの家を初めとして長子は死んだ。子羊の血を塗ることが救いになったのである。

以来、この過ぎ越しはイスラエルの各家庭でお祝いされてきたのだが、もとよりその儀式が救い主イエスご自身を表すとはつゆだに思ってもいなかった。それがメシヤ的に解釈されたのは、ほんの百年前の主イエスを信じたあるユダヤ人による(チョーズン・ミニストリーズ・山本真美子著)。先ず家長が三枚のマッツオという種入れぬパンを布に包んでテーブルに置く。種を入れないのは、種がパンをふくらませるように、自分が何者かであるように大きく見せようとする罪を取り除くという意味である。マッツオには小さな穴が無数にあるが、これは主イエスの十字架の釘跡を指し、焦げた筋は主が打たれた鞭の跡を指す。やがて家長は真ん中のマッツオを取って二つに割る。それは主の十字架での死を意味する。家長はその半分を元に戻し、残った半分を小さな布袋に包んで家のどこかに隠す(この二つに折る習慣は主イエスの時からであろうと言われる)。布に包み隠すというのは、主イエスが十字架で死んで布に包まれ、墓に葬られたことを意味している。子供たちは、この隠されたマッツオを探し出し、それは皆に分配される。その食事の間、彼らは四回杯を交わす(ルカ二十二章には、その三、四回目が記される)。伝統的に三枚のマッツオというのは、ユダヤ人社会の地位の祭祀、レビ人、イスラエルを表していると言われてきたが、メシヤを信じた者には、三位一体の神である父、御子、御霊を指し示すことになる。

マタイ二十六章で主は過ぎ越しの食事の最中に聖餐式を始めている。「イエスはパンを取り、取って食べよ、これはわたしの体である。これは、罪のゆるしを得るさせるようにと、多くの人のために流すわたしの契約の血である」(28)とある。主こそ十字架にほふられた神の子羊であり、その血を信じて心に塗る時に裁きは私たちを過ぎ越し、救われるというのである。過ぎ越しが、やがて主イエスを信じてゆく待望の儀式であったのだ。それは私たちの希望でもある。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

